

第60回大阪労連定期大会
9月6日(土) 12:30開会 (受付開始12:00)
J:COM中央区民センター

府議会開会日行動
9月18日(木) 早朝宣伝 8:30
ランチタイム集会・デモ 12:15

一部10円 組合員の購読料は組合費に含まれています 1993年6月22日第三種郵便物認可

全大阪労働組合総連合機関紙

今すぐ最賃1500円の実現
全国一律最賃制度導入を



労働局前スタンディング 労働局交渉 最賃引上げアピール宣伝 意見書提出行動

大阪労連では、この間、大阪労働局や大阪地方最低賃金審議会に対して「最賃1500円の早期実現・全国一律最低賃金制度の創設を求める」要請署名(個人署名1万433筆・団体署名491筆を提出)や労働局交渉、最賃生活体験の報告書の提出、大阪府での時間額1500円の早期実現と全国一律最賃制度実現、中小企業支援を求める意見書提出行動(235通提出)などに取り組んできました。

7月30日には、大阪地方最低賃金審議会総会での意見陳述に合わせ、猛暑の中70人以上の仲間が参加して「労働局前スタンディング」を実施しました。民青同盟の園部委員長と大生連の江田事務局長から連帯の挨拶を受けました。

意見陳述を行った関西共同印刷労働組合の藤井博樹さんは「初めて最賃体験を経験した。結果として残高1万4096円、これは最低賃金でも生活ができたという実感よりも、最低賃金でやり通すにはどこを削るか、考える日々だった。大阪府の最低賃金1114円では生活が苦しく、大幅な引き上げが必要、最低賃金を今すぐ1500円はまったなしの話」と力強く訴えました。

引き続き、大阪労連では、「今すぐ最賃1500円以上・実効ある中小企業支援 全国一律最賃制度導入」をめざし、運動を広げていきます。

あんない

「ハズル」の応募方法

ハガキまたはE-mailで〒・住所・氏名・組合名を必ず明記してください。
〈宛先〉〒530-0034 大阪市北区錦町2-2 国労大阪会館1F 大阪労連機関紙係
E-Mail: kikanshi@osaka-rouren.gr.jp
〈締切〉9月25日(木)
(発表は10月号)
〈賞品〉正解者の中から抽選で10人に図書カードを贈ります

ろーれん
クロスワードパズル

【とき方】二重カッコをアルファベット順に並びかえてください。あらわれた言葉・成句・詩歌が答えです。一部の文字は濁点に読み替えてください。

タテのカギ

- 岩手の西に位置する東北地方の県
- 面舵(オモカジ)の対義語
- 酸素の略。○○欠
- 家長が子孫に与えた訓戒
- 本物に似せた物。○○札
- むさぼって食わうとする欲望
- 葡萄酒
- 寸寸もそばを離れず付随(せいらい)

ヨコのカギ

- 前後の順序が入り替わること
- 果実のうち多肉となる部分
- 背がとてもし高い動物
- 恒星の周囲を公転する星
- 能ある○○は爪を隠す
- ベッドが2つある〜ルーム
- 細菌を取り除くこと。〜効果
- 都道府県の長
- はじめてであること。

5月号の答えは「センセイオファソウ(先生を増やそう)」でした。応募数はハガキ12通、メール79通、合計91通でした。次の10の方に図書カードを贈ります。

当選者(敬称略)

小西素子(堺市職労)、大原桜(高石市職労)、石井至(府高教)、加藤真弓(堺市教組)、久下亜衣(全労働大阪基準支部)

「ハズル」の応募方法

ハガキまたはE-mailで〒・住所・氏名・組合名を必ず明記してください。
〈宛先〉〒530-0034 大阪市北区錦町2-2 国労大阪会館1F 大阪労連機関紙係
E-Mail: kikanshi@osaka-rouren.gr.jp
〈締切〉9月25日(木)
(発表は10月号)
〈賞品〉正解者の中から抽選で10人に図書カードを贈ります

ろーれん
クロスワードパズル

【とき方】二重カッコをアルファベット順に並びかえてください。あらわれた言葉・成句・詩歌が答えです。一部の文字は濁点に読み替えてください。

タテのカギ

- 風がおさまった後になお残る波
- 青年と老年との中間の年頃
- 一番の物として強く推薦すること
- 少し破損すること。大破の対
- 能力などを信じすぎること。体力のくは禁物
- 熱湯の中にとさっと通したものの。ハモの〜
- 舞台
- たる目的
- 地上の対
- 調味料やアルコールなどを加えず「大豆・小麦・食塩」のみで作られた醤油
- 財物を強奪するため人家に侵入すること
- 耳成・香久と共に大和三山と称される山
- 本場の値打ち。〜を發揮する
- 自動販売機の略

5月号の答えは「センセイオファソウ(先生を増やそう)」でした。応募数はハガキ12通、メール79通、合計91通でした。次の10の方に図書カードを贈ります。

当選者(敬称略)

小西素子(堺市職労)、大原桜(高石市職労)、石井至(府高教)、加藤真弓(堺市教組)、久下亜衣(全労働大阪基準支部)

「長崎 閃光の影で」
「宝島」

「長崎 閃光の影で」は、日本赤十字社の看護師たちによる手記「閃光の影で」原爆被爆者救護赤十字看護婦の手記」を原案に、少女たちの視点から原爆の悲劇を正面から描いた作品です。看護学生の田中スミ(菊池日菜子)、大野アツ子(小野花梨)、岩永ミサヲ(川床明日香)の3人は、空襲で看護学校が休校となり帰郷します。しばらく家族や友人との平穏な時間を過ごしていましたが、8月9日午前11時2分、長崎市上空で原子爆弾がさく裂し、その日常は「瞬にして崩れ去ります。街は廃墟と化し、彼女たちは未熟ながらも看護学生として負傷者の救護に奔走します。作品では、原爆の悲惨さだけでなく、朝

鮮人差別なども描かれています。また、手記に感想を寄せた元看護学生の山下フジエさんも登場します。8月1日より全国劇場公開。

「宝島」は真藤順文の同名小説を映画化。主演の妻木聡をほしめ、広瀬すず、窪田正孝、永山瑛太らが戦後の沖繩を舞台に、当時の若者が占領下であっても、未来を信じて生きていく姿が力強く映し出されています。1952年から復帰するまでの沖繩が舞台で、小学校への戦禍の墜落やコザでの沖繩復興闘争なども描かれています。だからこそ、当時も今も、基地が有るが故に県民の苦しみは変わっていないことが伝わってきます。上映時間は191分と長いですが、沖繩の歴史だけでなく、友情、愛情、そして生きることなどが、メッセージは感沢山で、あっという間にエンドロールになっていくと思いきや、9月19日より全国劇場公開。

共済拡大表彰 1位 年金者組合!
特別賞 守口市職労・建交労・JMITU・通信労組大阪支部!

大阪労連共済 .どっと来む 169

共済拡大の教訓は、対話で共済内容を語れば理解が深まり加入に結びつくことです。2025年度(2024年7月~25年6月末)の1年間に共済拡大で奮闘いただいた各団体(共済会)に金一封と表彰状を大阪労連の定期大会時に授与しています。今年も、1位大阪年金者組合(金3万円)、2位・3位がなく、4月からはじまった「うちの安心共済(火災共済)」の自然災害特約加入(既加入者の5割以上)への取り組みに大きく貢献して頂いた4団体へ特別賞を贈ることにしました。どの組織も組合員が減るなかで奮闘され、年金者組合では支部代表者会議や各支部会議で「共済学習会」に取り組み、また各支部で発行する機関紙に共済内容を掲載し、拡げる活動を旺盛に取り組んでいる事などを評価させて頂きました。

10月からは秋の拡大キャンペーンも取り組みます。どの組合も組織を維持・運営するのに大変な思いをされていると思います。儲けるための共済でなく助け合いの共済と安い掛金を押し出し対話のツールにしましょう。引き続き組織拡大と併せて奮闘していただくことをお願いします。

大阪労連共済事務局 ☎ 06-6357-6462 FAX 06-6357-1065